

4	<p>身体を動かして遊ぶことが好きな子を育てる (年少)サーキット遊び・固定遊具・三輪車・ころがしドッジボール・簡単な鬼ごっこ (年中)縄遊び・ジャンケン遊び・中あて・鬼ごっこ(ふやし鬼・サイコロ鬼・氷鬼・ひょうたん鬼など) (年長)巧技台・ドッジボール・サッカー・長縄・跳び箱・鉄棒・雲梯・鬼ごっこ(色鬼・巴鬼・かぎ鬼・氷鬼など)</p>			<p>運動がしっかりできていて、子どもがのびのびしている、鬼ごっこウィークは色々な鬼ごっこができて子どもも喜び、楽しみながら体を使い寒くても体が温まるよい期間だと受け止められ、保護者の理解が深まり定着していることを感じる。</p>	A	<p>計画的に取り組めた。園庭が真ん中にあり、それぞれの遊びが他の園児からも見やすく刺激合って遊びが盛んになっている。職員も戸外遊びの進め方に慣れ、よく体を動かしていることで、子ども達には魅力的に受け止められていると思う。</p>	<p>このままでよいのではないか。</p>
5	<p>バランスのとれた教育活動を進める 特色である運動遊びと食育に偏らず、室内遊びや制作、音楽活動、人とのふれあいなど幅広い園生活を構成する。 ・毎週1回学年会、毎月1回学年主任会を持ち、保育内容を検討する。 遊びの様子を写真に撮り、職員みんなで協議し、ねらいの達成具合や、成長を把握して次週的环境を再構成する。</p>				B	<p>学年会、学年主任会はほぼ計画通りに実施でき、学年間の連携も深まり、異年齢が自然に混じって遊ぶようになった。 写真が撮れた時は、振り返って話し合いやすかったが、保育中に適時に取ることが難しく、後半は取り組みにくかった。</p>	<p>日々の遊びや、運動会・音楽会をはじめとする園行事は子ども達のやる気、熱意を感じる。内容が盛りだくさんになりすぎないように精選し、子ども達が自信を持って取り組み、達成感や満足感を味わえるようにしてほしい。</p>
6	<p>放課後体操教室の開始を試みる。</p>			<p>強い要望の声もあったが、平等に参加することの難しさからうまく進まないことも予想された。</p>	C	<p>「生駒市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則」に基づき、自主グループによる活動になった。参加する園児は20人程度である。活動の運営にはかかわらないが、円滑な施設利用ができるようにしたい。</p>	<p>特になし</p>
7	<p>園内研究会の持ち方を工夫し、指導力の向上に努める ・年間6回の園内研究会で、学年や発達に応じた活動の指導について、参観し合い協議する。 ・協議の仕方を工夫し、グループ討議や写真・ポストイットを使って観点を明確にしながらかし合う。</p>				A	<p>事前の打ち合わせをしたり、いろいろな方法で意見交換ができて、全員で前向きに取り組めた。グループ討議で深く話し合える良さ、全体討議で広く意見を聞ける良さがあるので、これからはいろいろな方法をとっていききたい。時間短縮になり、内容は濃かった。</p>	<p>このままでよいのではないか。</p>
8	<p>子育て支援活動(園庭開放・預かり保育)を利用しやすくする ・預かり保育の利用理由は保護者が必要とする時となったことの周知の徹底 ・未就園児の園庭開放:毎月第2・第4火曜日、園庭と共に保育室1室も開放する。 夏休み、冬休みの午前中の園庭・リズム室の開放をする。 ・参観日、親子体操の際の園児の弟妹の託児ボランティアを募り、保護者が活動に専念できるようにする。</p>			<p>預かり保育を利用する保護者が大幅に増えた。より長時間の利用を望む声もある。担当職員の増員は必要である。 未就園児の園庭開放やつぼみクラブの参加者も去年を上回った。 託児ボランティアの仕組みは好評である。保護者の中で登録してもらっているが、いつも協力できる人は限られている。保護者以外の協力も考えたい。</p>	A	<p>園庭開放やつぼみクラブの募集、自由参観について、自治会の回覧板を活用させてもらったことで、周知が広がった。夏休みの園庭開放は以前から行っており、まいにち数名程度の利用はあったが、同時にリズム室も開放したことで、暑さ対策にもなり、利用者が大幅に増えた。託児ボランティアの保護者は協力的だが、負担が大きい時もあった。地域に募ってみたい。</p>	<p>園が協力が必要なことは、もっとアピールすればよい。回覧板や掲示板などを活用し、わかりやすく目立つ表示を考え、何度も目にしてもらえるよう工夫すれば、地域の人たちも必要性を感じ取り、アクションを起こしやすくなると思う。年配の人たちもまだまだ力はあるので、うまく利用していくとよいだろう。</p>
